

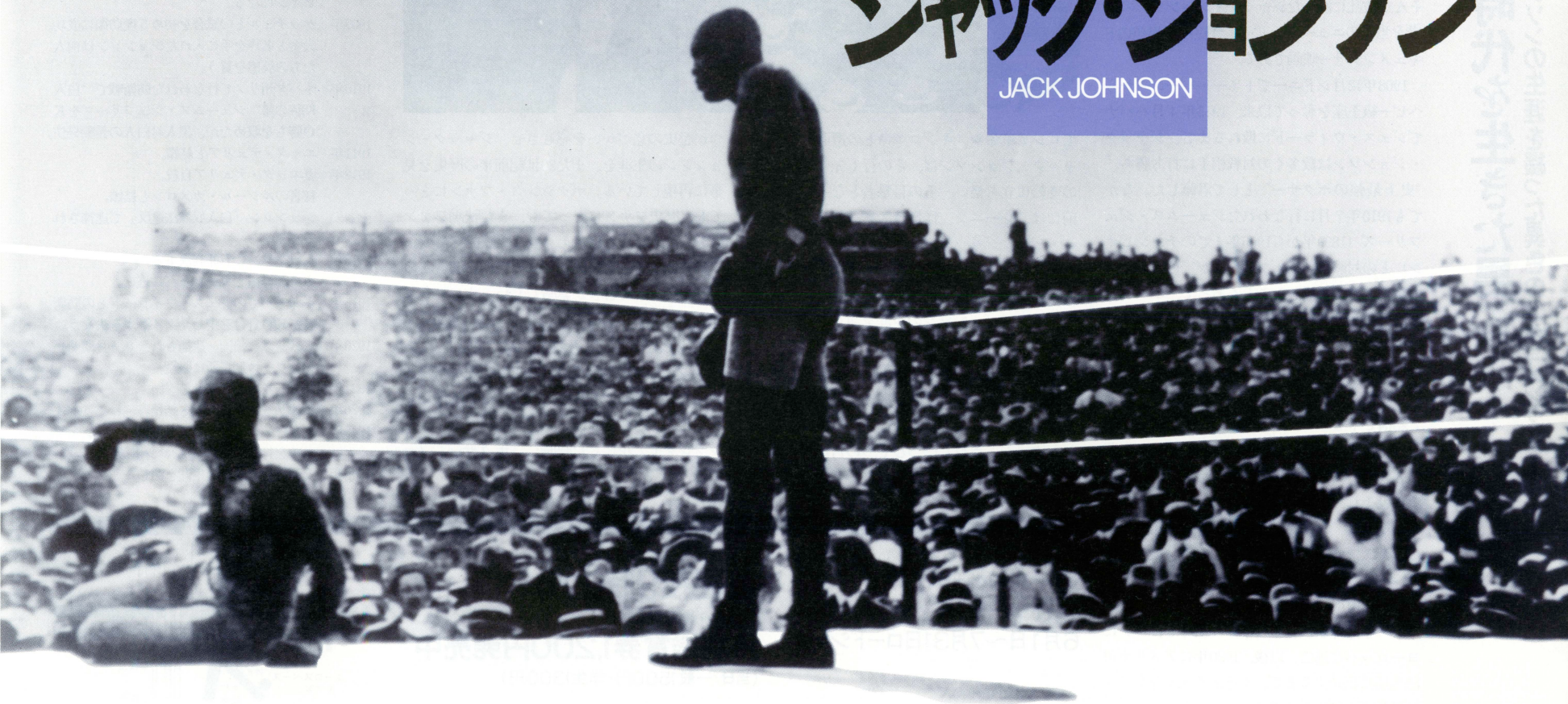
黒人初のヘビー級チャンピオン、ボクサー、ジャック・ジョンソンの伝説に挑んだ不滅のドキュメンタリー

チャンピオンを越えた男

ジャック・ジョンソン

JACK JOHNSON

監督-ウィリアム・ケートン
音楽-マイルス・デイビス
(オリジナル・サウンドトラック/CBS・ソニー・レコード)
登場人物-ジャック・ジョンソン/チャップリン
ジャック・デンプシー/レーニン/ラスプーチン
ジャック・ロンドン他
アメリカ映画/1971年/88分/モノクロ
アカデミー賞長編ドキュメンタリーノミネート
アトランタ映画祭金賞受賞
ニューヨーク映画祭金賞受賞
配給-ケーブルホーグ



ジャック・ジョンソン

JACK JOHNSON

史上最強のボクサーと謳われたジャック・ジョンソン。黒人初のヘビー級チャンピオンとなり、王侯貴族のような豪華な生活を送り、次々と白人女性を伴侶としたため、いわれのない人種差別にさらされ、ついにアメリカを去らなければならなかった伝説のボクサー。この映画は、そんな波乱に満ちたジャック・ジョンソンの生涯を当時のニュース・リールで綴った異色のドキュメンタリー映画である。

1908年12月シドニーでトミー・バーンズからヘビー級王座を奪って以来、1915年4月ハバナでジェス・ウィラードに敗れるまで、ジャック・ジョンソンは数多くの対戦相手に打ち勝ち、「史上最強のボクサー」として君臨した。なかでも1910年7月に行なわれたジェームズ・ジェフリーズ（1899年から1905年までのチャンピオン）との対戦は、ジェフリーズが「白人の期待の星」として登場したこともあって、ボクシング史上に記憶される大試合となった。その模様はボクシング・ファンならずとも興奮させられるにちがいない。

「俺はジャック・ジョンソン。黒人だ。黒人で結構じゃないか。俺は歴史に名前を残してやる」——ジャック・ジョンソンは、この言葉のとおり、20世紀前半の激動の時代に栄光と憎悪に包まれた足跡を残した。

ジャック・ジョンソンに対する人種差別攻撃は、ジェフリーズ戦以来激しくなり、彼がエッタ・デュリアと再婚し、その彼女が自殺したことから頂点に達した。1913年、「白人奴隷法違反」で逮捕され有罪になるに及んで、ついにヨーロッパに逃亡。以後、1920年にアメリカ司法当局に出頭するまで、ジャック・ジョンソンは激動する世界を放浪することになる。

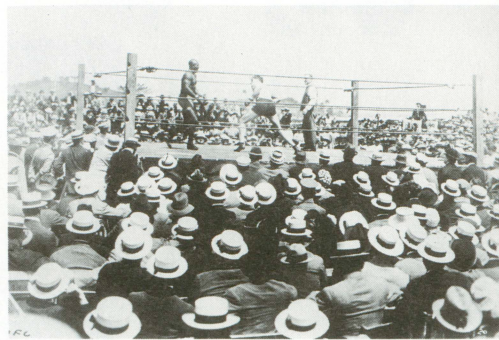
ヨーロッパに赴くや第一次大戦の勃発、そし

製作:ジム・ジャコブス 監督:ウィリアム・ケートン 脚色:アル・ボーディアン

音楽:マイルス・デイビス(サントラ版CBSソニー) ナレーター:ケビン・ケネディ 声(ジャック・ジョンソン):B・ピーターズ

出演:ジャック・ジョンソン、トミー・バーンズ、ジャック・デンプシー、ジャック・ロンドン、チャールズ・リンドバーク、レーニン

ジェームズ・ジェフリーズ、ラスプーチン、バット・マスターソン、チャップリン、パンチョ・ビラ、ジョー・ルイス他



てロシア革命やメキシコ革命との遭遇……。ジャック・ジョンソンは、その行く先々で、歴史の変転に立ち会い、その目撃者となった。彼の前には、レーニン、怪僧ラスプーチン、パンチョ・ビラ、ジャック・ロンドン、バット・マスターソンといった同時代の多士済々な著名人たちの姿が次々と通り過ぎていく。それはまさに、ジャック・ジョンソンの生涯を通して見られた、20世紀前半の歴史の教科書のようなものである。

そうした過去の生き生きとした姿を活写するニュース・リール。それは普通古臭く感じられるものだが、ここではそんな古さは微塵もない。モンタージュされた一つひとつの古いフィルム断片は文字どおり古くて新しい。その一つひと

つが歴史の息づかいを感じさせ、ジャック・ジョンソンの生涯を、また20世紀前半の歴史を見事に再現している。ボクシング・ファンにとっても、歴史ファンにとっても、また映画ファンにとっても、これは堪えられない映画である。

音楽はマイルス・デイビスの自作自演。そのトランペットの響きが素晴らしい。ナレーションもジャック・ジョンソンらの当時の言葉からの引用を織りまぜ、また挿入された映画も、『チャップリンの拳闘』(15年)、ジョンソン自身の出演した『拳骨大売出し』(32年)など時代の息吹きを感じさせて面白い。なおジャック・ジョンソンをモデルにした映画に『ボクサー』(マーティン・リット監督、70年)がある。

アメリカ映画/1971年/モノクロ/88分

アカデミー長編ドキュメンタリー部門ノミネート
アトランタ映画祭・ニューヨーク映画祭金賞受賞

ジャック・ジョンソン略歴

- 1878年 テキサス州ガルベストーンに生まれる。
- 1898年 黒人女性メリー・オースチンと結婚(1901年に離婚)
- 1908年 オーストラリアのシドニーで、トミー・バーンズを破り史上初のヘビー級黒人チャンピオンになる。
- 1909年 ケッチェルとの試合を初め5度防衛に成功。大金と名声を手に入れたジョンソンは白人たちの反感を買う。
- 1910年 ネバダ州リノで行なわれた防衛戦で「白人期待の星」ジェームズ・ジェフリーズをKO勝ちを収めたが、黒人対白人の暴動発生。
- 1911年 エッタ・デュリアと結婚。
- 1912年 妻エッタ・デュリア自殺。
秘書のルシール・カメロンと結婚。
ジョンソン「白人奴隷法違反」で逮捕される。
- 1913年 ジョンソンに有罪判決下る。
カナダ経由でヨーロッパに逃亡。
- 1915年 キューバでのジェス・ウィラードとの防衛戦でKO負けを喫し、タイトルを失う。
- 1920年 アメリカに帰国。逮捕され、6ヵ月間リーベンワース刑務所に服役。
- 1924年 ルシール・カメロンと離婚。
- 1926年 アイリーン・ピノルと結婚。
- 1945年 ジョー・ジェネットとエキジビション・マッチを行なう。(ジョンソン最後の試合)
- 1946年 交通事故で68歳の生涯を閉じる。

[ユーロスペース]
ナイト・ムービー
6月1日~7月31日ロードショー

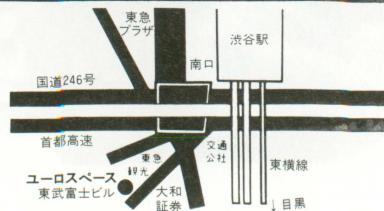
連日夜9時上映

(土・日・祝は8時上映)

特別鑑賞券1,200円発売中

(当日/一般1500円・学生1300円)

都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ他にてお求めください。



ユーロスペース Tel.461-0211

渋谷駅東急プラザロ下車2分 東急観光うしろ